

○ワークショップ「都市の OR」

開催責任者 理工学部 三浦英俊

2014年12月13日

12月14日

南山大学名古屋キャンパス E棟 EB1、E12



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

招待講演 3件

Pitu Mirchandani: “Issues, Problems, Solutions and Challenges in Transforming Infrastructure for Electric/Alternate-fueled Vehicles”,

Chung-Lun Li: “Coordinated Production and Delivery for an Exporter”,

Olivier Peton: “Optimization of intermodal transport systems: some lessons learned”

ほか、全部で 38 件

(プログラム詳細は、<http://www.ms.nanzan-u.ac.jp/uor/2014/schedule.html> を参照してください)

◇ワークショップの討論内容

防災について、施設配置について、インフラの整備についてなどさまざまなテーマについて、オペレーションズ・リサーチの理論と実践の視点から討論を行った。

特に、腰塚武志先生による研究発表『「都市空間のモデル化」の原点』は、都市問題を実際に解決するために必要な数理モデル化の要点について指摘し、これらが現在進みつつあるビッグデータや IoT といったデジタルデータの活用にとって重要であることをワークショップ参加者が認識できた。

◇研究成果発表

鵜飼孝盛・佐々木美裕、「空間的な需給バランスを表す新しい指標の提案—神奈川県急性期病床を対象として—」、都市計画論文集vol.49-3 p.987-p.992、2014

Yudai HONMA and Shigeki TORIUMI, “Model Analysis of Electric Vehicle Charging Infrastructure Development on Highways – An Approximation of the Required Scale of Electric Vehicle Charging Facilities –”, FORMA Vol.29-1 p.41-p.50, 2014

Shigeki TORIUMI, Azuma TAGUCHI and Teturo MATSUMOTO, “A Model to Simulate Delay in Train Schedule Caused by Crowded Passengers - Using a Time-Space Network –”, International Regional Science Review Vol.37-2 p 225-p.244, 2014